

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常磐毎日印刷所



刊夕日二十月一十

定部金貳錢 一ヶ月五錢 三ヶ月一圓二錢 半年二圓 一年三圓 郵税五厘 印刷料一行一錢 一行二錢 一行三錢 一行四錢 一行五錢 一行六錢 一行七錢 一行八錢 一行九錢 一行十錢 一行十一錢 一行十二錢 一行十三錢 一行十四錢 一行十五錢 一行十六錢 一行十七錢 一行十八錢 一行十九錢 一行二十錢 一行二十一錢 一行二十二錢 一行二十三錢 一行二十四錢 一行二十五錢 一行二十六錢 一行二十七錢 一行二十八錢 一行二十九錢 一行三十錢 一行三十一錢 一行三十二錢 一行三十三錢 一行三十四錢 一行三十五錢 一行三十六錢 一行三十七錢 一行三十八錢 一行三十九錢 一行四十錢 一行四十一錢 一行四十二錢 一行四十三錢 一行四十四錢 一行四十五錢 一行四十六錢 一行四十七錢 一行四十八錢 一行四十九錢 一行五十錢 一行五十一錢 一行五十二錢 一行五十三錢 一行五十四錢 一行五十五錢 一行五十六錢 一行五十七錢 一行五十八錢 一行五十九錢 一行六十錢 一行六十一錢 一行六十二錢 一行六十三錢 一行六十四錢 一行六十五錢 一行六十六錢 一行六十七錢 一行六十八錢 一行六十九錢 一行七十錢 一行七十一錢 一行七十二錢 一行七十三錢 一行七十四錢 一行七十五錢 一行七十六錢 一行七十七錢 一行七十八錢 一行七十九錢 一行八十錢 一行八十一錢 一行八十二錢 一行八十三錢 一行八十四錢 一行八十五錢 一行八十六錢 一行八十七錢 一行八十八錢 一行八十九錢 一行九十錢 一行九十一錢 一行九十二錢 一行九十三錢 一行九十四錢 一行九十五錢 一行九十六錢 一行九十七錢 一行九十八錢 一行九十九錢 一行一百錢



冬特價提供品
 メリヤスシャツ 十錢
 本年流行シヨール 三圓八十錢
 純毛都腰巻 一圓三十錢
 特製婦人毛シャツ 三圓五十錢
 本毛シャツ 三圓二十錢
 特價ワイシャツ 一圓五十錢

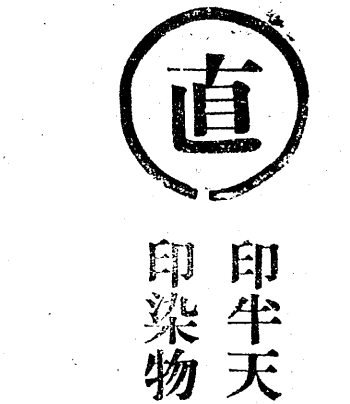
當る十一日より差替
 武井龍三主演
大剣 刃門
 市川右太衛門主演
紅戀 春日山の月
 大谷友三郎主演
つづれ 大曼寺堤
 松本泰輔主演
悲劇 片思ひ 後篇
 尾上紋十郎主演
捕物情の掛繩
 奇談
 明石緑郎主演
劍豪 恒川半三郎
 土曜日曜十時より
 平日正六時開館
有聲座

常磐論壇
若槻内閣の非違を糾弾す
 政友會幹事長 鳩山一郎 (承前)
 去月三十日若槻首相は「大御心を推し奉り減刑を奏請した」と云つて居るが、之は憲法の最も重要な條章「天皇の神聖不可侵」を破り國務大臣の責任を忘れた謂ゆる袋龍の袖にかくれんとする許す可らざるの言辭である。又該事件を彼の幸徳事件に對して減刑されたものと對比して論ぜんとするが如きは、主犯と從犯との區別を忘れた暴論である。

凡そ國憲の作用は公明正大であつて苟も隠秘糊塗を許さない、就中司法權の作用は神聖絶大なものである。然るに司法省は大臣、次官局長の合作に於ける虚偽の聲明書を前後三回に亘つて發表した。我等は之に對して數回之が虚構の聲明なる事實を實證を擧げて反駁したのであるが、政府は今尙ほ言を左右にして飽まで黒を白と言ひくるめんと腐心して居るのは全く笑止の至りである。若槻首相は口に正義を説き乍ら常に陰謀を事として居る。其の一適例として機密事件について一言した。去る五十一議會

中、中野某が或る者に依頼して捏造した謂ゆる陸軍機密事件を遽に議政壇上に擔ぎ上げて遮二無二之を政争の具に供して我黨總裁を傷けんとしたのであるが、幾何もなく其の荒唐無稽なる事は陸軍大臣總理大臣が言明した事に依つて明白となつたのである。(つづく)

一冊の代金で
御希望通りの
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡回文庫
 電話六三〇番
 (申込次規則書進呈)



草野染工場の技巧組織
 場主 草野七五三之助 電話三四八番
 糊置師 中村利雄
 同 松浦貫右衛門
 同 金成保吉
 意匠師 石川幸太郎
 福島縣 西村印刷所主人
 襟字揮毫 外染色部員

左の方法によりて技巧者の聯絡統一優秀品の作製せらるゝ事が證明されます

◎草野染工場の信條及優良品の證明

一	元料購入ノ豊富	五	價格ノ廉價納品
二	大量製産	六	紺色合ノ優美 大紋赤ハ當工場ノ獨特
三	雨天乾燥場ノ設備	七	印伴天受賞ノ證明
四	注文品納期ノ確實	八	技巧者ノ聯絡統一

獨り染業家は申しません凡ての事業は組織的に經營する事即ち専門工程を聯絡統一して完全なる製品となす事が組織的に作製すると云ふ事である此點が必要であります。店主此點に痛感する事久しうして福島縣印伴天同業組合組織を提唱して斯道の知人先輩福島縣工業試験場長本間三郎氏に懇談し此の聲援によりて現在此組織を進行し實現の上は一層専門的に考究して福島縣産物の一に爲さんとするの決心であります。現在福島縣内に於て印伴天の専門分業に經營しつつある店は草野染工場が嚆矢で現在又印伴天専門店には他に無いと存じます。草野染工場は十年前既に茲に着眼して印伴天専門印物染分業に經營して居るのであります。且下草野染工場は縣外千葉、新潟、神奈川、三重等に製品を輸出して居ります。將來は進んで北海道に構太に遠征的に擴張し(印伴天は北海道は有望であります)充分本縣産物の優一なるものと努めんと致して居ります。夫れには左の條項が最も遠征的擴張の素質であります。草野染工場は之れを信條として經營しつつあります。故に決して他店に遜色ありません。最近の世評に草野染工場と云へば印伴天を思ひ起し印伴天の話しをすれば草野染工場を聯想する。と云ふ事を皆様より申されますが幸ひにも永年の努力左の弊工場の信條が發揮せられ草野染工場とは印伴天の代名詞となりまして遠近各位より絶大の歡迎を受けて居ります。

左の信條は確かに萬染物屋(何んでも染める染屋)を征服し得る素質でありまして草野染工場の今日ある次第であります。何卒御得意様には此點御諒承下さいまして他店染品と御比較の上弊工場の申上る事御認めの上不相變御引立を御願ひ申上げます。

量水器の申込を怠ると給水を停止
来る廿日迄の申込には
材料の實費だけで
平町では昨年十一月水道
給水を全部計量給水の制度
に改正すべく
告示した が愈々今
回之れを實施することにな
つた而してその量水器の取
りつけは本月三十日迄の申
込に對しては材料の實費だ
けで職工賃や人夫賃を免除
する等で事故のためこの期
間内に申込みが出来ぬ向に
あつては期限を定めその事
情を詳具して猶豫の

冬向きのイタクネ
ラフマラカレ夫
今年冬の向きのネ
クタイにおいて最
も特徴ある變り
を見せたのは、日本古代の模
様が應用された事である。
尤もこの傾向は秋の時分か

之等の純日本の模
様が、洋服附屬品たるネク
タイとして調和を失はず巧
にあしらはれてゐるので却
々感じがよろしい。日本の
帯地でネクタイを拵へて喜
んでゐる西洋人があるそう
であるが、事實日本の帯地
をネクタイに利用すると
第一に 地質の點に
おいても確かに良いそうであ
る。次に新しい柄ではホ
グシ織り、即ち新式のもの

小人が多い
活動の觀覽客
平町興業界は依然として極
めて沈靜の裡にあり好況當
時は三つの活動常設館と一
であります上等のは量の割
に重いものであります、悪
るいのは節の肌が脂肪分の
爲に黒ずんで居りますから
一見して分ります。これは
ごんな所に影響があるかと
いふと羨出しに使つた時に
脂肪の多いのは出方が悪る
く良い出汗がでないのであ
ります、上等のは大變美味

不平受付
投稿歓迎
自動車の速力 平湯本間
の自動車本町通りより新
通りを通過して平驛に至る
際此の通りは人馬の往來が
頻繁であるのに拘らず無間
に速く走るので危険が甚だ
しい、何んとか此地點だけ
は速力を緩める様にして戴
く譯には参りませんか(一
區長)
上田院長歸平
平町
南町外科専門上田醫院長上
田耕作氏は過般來豫備役召
集不在の處此程歸院從前通
り一般診療に従事してゐる

平局は早くも
年賀準備の武裝

新年の大正十六年一月一日
迄にはまだ五十日からある
といふのは唯カレンダーを
眺めての一般の人々のいふ
ことで手と足に
繁忙ある事を見越して
割賦課決定の町會を遅くも
本月末日頃までには召集の
豫定で目下吏員は編成を取
急いで居る

寸時の 閑のない水
鳥よろしく郵便事務に従事
する吾々の周囲にはモ一年
未が押し寄せた同様でと早
くも賀状取扱の準備に平郵
便局は着手した小松局長は
語る『數日前から取扱に對
する係員の配置も決めたが
今度は夫れに要する
諸帳簿 の調製に忙
殺されてゐるわけである虚
禮廢止の宣傳が幾分か徹底
し來たつたので追年賀状は
減少すると思ふが一面賀
状發送の趣味化と商略的關
係から方部に依つては却て
増加した箇所もあるそれに
今年は一帯に經濟界の不振
から各商業などの
從來の 得意先の關
係や販路上に對する意向も
加はつて賀状の發送數など
は殆んど豫想もつかぬので
準備はしたものの相當氣が
揉み出した』と成るほど大
正十六年があと數日に迫つ
たやうであつた

戸數割賦課の
編成を急ぐ

上原氏の
送別演奏曲目
廿日晝夜二回
既報山田流の大家上原眞佐
喜氏の送別大演奏會は廿日
午後一時より及び午後六時
よりの二回に亘り聚樂館に
催される筈であるが純益金
は警城訓育院に寄附さるゝ
筈であつて當日の曲目左記
の通りである

△晝の部(人の道)植竹
佐喜壽、鈴木佐喜勇、新
妻陸子、黒田眞佐代、遠
藤杉咲(柗枕)渡邊佐喜照
新妻陸子、清水良純、小
野靜重(警城の誇り)遠藤
杉咲、田中秀子、黒田眞
佐代、松本てる子、鈴木
武雄(秋の曲)清水良純、
上原淳子、遠藤杉咲、鈴
木佐喜勇、谷口鹿童(松
風)鈴木佐喜勇、新田目
松子、山崎きよ子、酒井
みさ子、飯高曙童(落花
の譽れ)上原眞佐喜、植
竹佐喜壽、上原淳子、小
野靜重(六段)一同
△夜の部(近江八景)植
竹佐喜壽、新妻陸子、黒
田眞佐代、遠藤杉咲(警
城の誇り)新田目松子、
山崎きよ子、酒井みさ子
飯高曙童(末の契り)渡邊
佐喜照、清水良純、鈴木
佐喜勇、鈴木武雄(白鳥
聲)遠藤杉咲、田中秀子

黒田眞佐勇、鈴木佐喜代
小野靜重(小督)上原眞佐
喜、酒井きよ子、清水良
純、谷口鹿童(三の景色)
上原淳子、植竹佐喜壽、
鈴木佐喜勇、飯高曙童(
須磨の嵐)清水良純、松
本てる子、新妻陸子、上
原淳子、谷口鹿童(吾妻
獅子)上原眞佐喜、新田
目松子、上原淳子、小野
靜童



家庭欄

娼節の見分方
輕節の上等品は脂肪分が少
くて乾燥のよいものでなけ
ればなりません、保存上に
も又味の上にもこれが必要

母親が貰ひ子虐め
二度の食も口々に與へず
顔には生傷だらけ
好間村にて
石川郡好間村大字北好間字
三反田居住郡山市小原田町
生れ佐藤龜吉(三)は八日午
後七時頃同村古川炭礦長屋
西連寺武男方に忍入り大島
銘仙男給一枚外四點(合計
價格五十圓)を窃取し昨日
平署青田、菊地の兩刑事及
び中島巡查に協力逮捕され
目下餘罪ある見込にて取調
中

盗盜犯捕る
好間村にて
石川郡好間村大字北好間字
三反田居住郡山市小原田町
生れ佐藤龜吉(三)は八日午
後七時頃同村古川炭礦長屋
西連寺武男方に忍入り大島
銘仙男給一枚外四點(合計
價格五十圓)を窃取し昨日
平署青田、菊地の兩刑事及
び中島巡查に協力逮捕され
目下餘罪ある見込にて取調
中

散歩姿
にも當然そ
の調和は圖らるべきもので
あるから、ネクタイと奥さ
んのショールとの調和とし
て其地を用ひることが流行し
てゐる